

2023年第4回定例会の日程が決まりました

10月30日の議会運営委員会で、今年最後となる第4回定例会（12月議会）の日程が決まりました。長期におよんでいる物価高騰が続く中、苦しい市民生活をどう守っていくのか、大型ハコモノではなく「暮らし・福祉・教育など」が大切にされる市政運営へ、みなさんの声を議会へしっかり届けます。率直なご意見・要望・実情など、お寄せください。

【日程】

11月30日(木) 開会日・本会議

12月4日(月) 一般質問 ①井本（公明）②寺本（自民）③平江（熊自）

5日(火) 一般質問 ①上田（市民）②井芹（共産）③筑紫（参政）

6日(水) 一般質問 ①瀬尾（無所属）②高瀬（公明）③田島（自民）

7日(木) 一般質問 ①松川（熊自）②西岡（市民）③伊藤（公明）

8日(金) 一般質問 ①荒川（自民）②松本（熊自）③村上麿（自民）

12日(火)～ 予算決算委員会分科会・常任委員会

（請願・陳情の趣旨説明）

18日(月) 予算決算委員会・しめくくり質疑

20日(水) 最終日・本会議（質疑・討論・表決）



* 請願締め切りは、11月30日(水)午後5時
* 陳情締め切りは、12月6日(火)午後5時
☆ 請願・陳情の趣旨説明は、12月12日
分科会・常任委員会の冒頭になります。

日本共産党
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp
発行：日本共産党熊本市議団 HP：共産党 熊本市議団

NO. 1344
2023年11月5日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



検索



上野みえこ
(中央区)



いせり栄次
(東区)

いせり栄次議員が一般質問を行います

日時：12月5日(火) 午前11時10分～12時10分まで
場所：熊本市役所議会棟・本会議場（傍聴席は5階）

* 取り上げてほしいテーマなど、ご意見をお寄せください。

* 議場傍聴席での直接傍聴と、市議会HPのインターネット同時中継があります。

議会の傍聴について

● 本会議は、本会議場傍聴席で直接傍聴できます。

* 直接傍聴の受付は、議会棟5階エレベーター前にあります。

* インターネット中継ならびに録画放映もあります。（熊本市役所HP）

● 委員会は、市役所議会棟のモニター傍聴とYouTube配信があります。

（詳しくは、議会事務局へお尋ねください。☎328-2687）

【控室から】
秋の話題 三題

いせり 栄次

【スポーツの秋】澄み渡った青空のもと秋津小学校の運動会に出席してきました。午前中だけの開催でしたが、子どもたちの元気な姿が素晴らしい演技に心から拍手を送りました。

【祭りの秋】町内の秋まつり。フリーマーケットや月明かりライブ朗読会、ライブコンサートなど大賑わいでした。メインは手作りの芋煮会、美味しくいただきました。準備に携われた皆さん、大変お疲れ様でした。以前は夏祭りでしたが、高齢者も多く、猛暑の夏は無理となり今年も秋に開催。気候変動の影響がここにもあります。

【実りの秋】今年も実家の稲刈りの応援。時間がなかなか取れずに日曜日の半日だけでしたが、神戸の姉たちの応援を受けて何とか終了。新米はやっぱりおいしい。私の実家でも生産農家が減少し、用水路の負担金が増え、高台の水田が廃止。来年から3割の生産量になります。資材高騰など貧困な農政で零細な農家が切り捨てられています。

議会厚生委員会視察報告 (10/24~26) いせり栄次議員

日本共産党熊本市議会だより 2023年 11月5日号 (No.1344)

10/24日から26日までの3日間、厚生委員会で江東区、さいたま市、柏市を視察しました。いずれの視察も本市が抱えている大きな課題です。
しっかりと生かしていきます。



(NPO マギーズ東京の外観)

さいたま市の「ケアラー支援条例」

ヤングケアラー対策は、社会問題になっており、多くの自治体で対策が始まっています。

さいたま市では、条例を制定し、ケアラー対策に取り組んでいます。条例の特徴は、前文に制定の意義を入れ込み、「支援を必要としているケアラーの早期発見」に取り組むことを明確化、自治体として取り組むべき施策の方向性を具体的に盛り込んだことです。あらゆる媒介を使って周知の努力、小、中、高生へのアンケートを実施し実態把握のための調査を行っています。調査で判明した支援の必要がある

児童生徒へは、面談等を実施し、家事サポートなどの具体的な支援につなげています。

熊本でも実態調査を実施し、潜在化しているヤングケアラーの実態をしっかりと把握し、対策を急がなければなりません。



NPO 法人運営のガン患者等の暮らし・癒しの場の提供

東京江東区には、ガン患者や、家族への社会的支援事業を行う相談センターがあります。ここは、いつでも無料で利用できる相談所になっています。がんへの不安やゆっくり過ごしたいなど心を癒される施設として、看護師や心理士などのボランティアに支えられて運営されています。利用者の多くは女性で約8割。多いのは、乳がん患者です。

(利用者は月400~500人)
自治体などの財政支援は受けずに、寄付金等で運営されています。(江東区の委託事業も受けています)

環境や自然もサポートの一部で、建物も木材をふんだんに使用した癒されるものになっています。熊本市内にも同様の施設があるとのこと。

柏市の「フレイル予防施策」

年をとって心身の活力が低下した状態を「フレイル」と言います。(エスカレーターにうまく乗れない。ペットボトルが開けられない。固いものが食べにくくなったなど)。

何もしないと要介護者になるので、さまざまなメニューを作り、健康長寿に取り組んでいます。東京大学と提携し簡単にできる「指輪っかテスト」や、「イレブンチェック」などエビ

デンスに基づくフレイルチェックのプログラムを開発。

さらに、一定の研修を受けたサポーター制度を作り、多くのサポーターがまちの健康づくりの担い手として活躍しています。また、ポイント制度(年上限5000ポイント)を導入して、多彩な予防メニューに取り組んでいます。

それ以外にも、健康づくり出前講座などレベルの高いフレイル予防対策が取り組まれていました。